

(第136回) 麻雀大会 —後藤 尚志氏(初優勝)—

昭和44年6月に第一回大会が開催されて、今回で136回目の大会がいつもの「雀荘(利一)」において開催されました。今回が平成での最後の節目ある大会となりました。

当日は、晴天で20名の参加、5卓での戦いとなり、12時開始、半荘4回戦(1時間/回)のいつものルール。組合せはくじ引きで、最終戦は3回目までの合計成績順での戦い。

各卓の雰囲気はその組み合わせの各人の個性によって様々であり、賑やかな卓や、静かな卓など、また喜びの声や嘆きの声などが入り混じった戦いが繰り広げられます。先輩、同輩、後輩など、また元の出身母体の区別なく、落ち目を叩く熾烈な戦いの中にも、和気あいあいの楽しい会であります。実力差、集中力、性格、ツキがあるない等の運不運、が場を面白くさせるのが、麻雀だと思います。

さて、今回の栄えある平成最後の優勝者は後藤尚志様で初めての由。2位は林稔様、3位は芦田信彦様で、当会のベテランメンバーの方々でした。

なお、ブービー賞はこの観戦記を書かせて頂いている私で、初の受賞と書けばかっこいい?のですが・・・。大会後、事務局長の服部様に調べて頂いたところ、なんと!直近の5大会で4回目のオールマイナスとの事で自らの腕(頭)の悪さを自覚!。今回20名中3名がオールマイナスでした。今回が、初参加である高橋誠さん(元新日鉄エンジニアリング)からご挨拶を頂きました。

昭和、平成と二代に亘った歴史ある当大会も新しい元号の下で7月11日(木)に第137回目の大会が開かれます。果たして、どなたが初の優勝者となられますか?新しい元号に向けて、多くの新規参加者を待っています。

さて、現下の世界の動向、情勢や景気の変動な

どが如何にこれからなっていくのか、アイアンクラブの諸活動に参画しながらも注目したいものですね。
(大西 建男・記)



優勝記

此の度の麻雀大会で初優勝させて頂きました元日新製鋼の後藤でございます。ゴルフ会では優勝経験が数度ありますが、麻雀大会では初優勝で大変うれしく存じております。



いつも幹事をやっていただいている柳島さんや事務局の服部さん、松浦さんにまず感謝申し上げます。

当日は日新製鋼から金丸さん、浮田さん、浮舟さんと私が参加いたしました。この四人は入社が昭和35-37年で、日新の独身寮でいつも土日などに、麻雀をずいぶん楽しんだ仲間、強いメンバーでした。今も80歳を超えたこの四人がそろい踏みして、参加できる健康を保っているのは嬉しい限りです。

さて、此の伝統ある会には私は8年前ぐらい前

に入会させて頂き、過去10回ぐらいの参加で、ブービーが一回と二位が一回あるだけの成績でした。そろそろ優勝したいなと思っていましたが、実は大会の一週間前に、ゴルフ仲間との麻雀でなんと10年ぶりぐらいに国土無双の役満を達成しました。大変ついていたので、今回の大会も強気で行こうと決め、打ちましたところ、お陰様で優勝ができ嬉しく存じています。当日の4回戦は元日鐵商事の林さんが初めはトップでしたが、最後に私が逆転で勝たせていただき、林さんには申し訳なく思っています。林さん御免なさい。

最後に、この大会は参加者の皆さんが楽しい仲間ばかりで、おまけに紳士そして勝負師です。まもなく91歳になられる元川崎製鉄の柴田さんが毎回お元気で、マナー良く、そして鋭い麻雀をされます。いつも尊敬しながら、そのお姿を見させていただいております。私も90歳代でも元気にこの大会に参加できることを願い、御礼のご挨拶とさせていただきます。どうも有り難うございました。

(後藤 尚志・記)

